

※主に川に関する情報をまとめる(地域情報との重複可)

大項目	中項目	情報収集			目的の抽出と整理(オリジナル)	目標事項の整理結果		大項目の整理結果(オリジナル)	
		昔の状況(昭和世代)	現在の状況	将来の状況		川づくりの目的・目標・回復すべきもの	目標達成のポイント	目標事項の整理結果	
		抽出した目的一覧						川づくりの目的・目標・回復すべきもの	
治水	流下能力	不明	計画高水流量確率年数100年(S40年災害後に整備)	計画高水流量確率年数100年(S40年災害後に整備)	計画高水流量確率年数100年(S40年災害後に整備) 1/100確率を満足する河川断面の確保	どんな水量でも安心な川	1/100確率	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 地域の生活を守り川の自然を残した整備・改良・保全 </div>	
	河床勾配	不明 頭首工ができてから上流は河床が安定した(重複)	1/19(詳細は河川測量後)であり、流れは速い		河床勾配を復元させる 河床低下を抑止する 河床勾配を安定(現況維持)させる 河床勾配の変動を少なくする 変化のある河床勾配(瀬の設置)	自然のまま、今のままの川 川の変化に富む	河床勾配の安定 河床の変化を持たせる		
	河川法線	(大昔)遠山地震までは和田の集落内を流下していた 水流は護岸にぶつかりながら蛇行している 和田の集落内に支川があった	地震により現在の法線に変わった 湾曲しながら和田地区を通過している 水流は護岸にぶつかりながら蛇行している 雷の華の両岸がせまい(和田大橋~押出橋) 和田の集落内に支川が残っていない		現況法線の維持 河川の蛇行を維持したい 均一断面の河川法線 直線的な河川法線 水流が護岸にぶつからない川(を整備) 支川の有効活用、支川の復活	自然のまま、今のままの川 (現在を自然な状態として)	現在の護岸法線 流水部の蛇行、変化		
	河岸		下流右岸側の一部は護岸施設がない 上流部は掘り込み河道となっている	巨石をもっと多く入れる(重複)	護岸未整備区間の整備 畑と堤防道路を保護したい 掘り込み河道の護岸整備 巨石で構成された河岸	自然を生かし安らかに生活できる川	護岸の設置 自然石の利用		どんな水量でも安心な川 自然のまま、今のままの川 自然を生かし安らかに生活できる川 自然のまま安心して生活できる川
護岸	S40災害で築堤をして桜植樹してから、災害はない 保育園裏(旧中学校裏)から災害があった 昔護岸が決壊した。 家(夜川瀬付近)から川の水面が見えた(重複) 昭和初めまで木材の搬出場だった(川への出入りが多かった) 昔は本郷の護岸だった(船の舟を利用、現河川の護岸全体がそのよであった。NO.7) 水制工はなかった 護岸が全体的に低かった 下流部は護岸がなかった	最近では災害は発生していない S40災害後に護岸を高く整備 右岸側は掘り込み護岸となっている 左岸側は中下流部で築堤護岸となっている 上流部は掘り込み河道となっている 左岸側の中流部に水制工が設置されている 根継工(洗濯有)がある フロンかごがある ブロック積工、ブロック張工がある トンネル上流の護岸は岩盤部に掘り付けられている 護岸から数カ所の出入りができる	防災安全を第一として欲しい 松島橋の下まで整備 連結ブロック積(低水護岸) 既設ブロック補強必要(中橋)、護岸ブロック補強必要(中橋~和田大橋) 中橋下の河床低下は、抑えなければならない 中橋下は、洪水にも耐えられる堅固な構造物が必要(重複) 中橋左岸、洗濯部分を蛇かごを利用して強化する-NO.5 中橋下流、左岸の浸食されているので、蛇かごによる固定化 中橋付近左岸側の洗濯しているヶ所の整備 ブロック造りの護岸でなく強い景観の良い護岸 コンクリート構造物を隠す。-NO.5 ブロックを隠すような施工法としたい-NO.5 蛇かご撤去 草のはえない護岸	災害のない護岸としたい 増水しても安全に流下させる護岸整備 堅固な護岸としたい 低水護岸の整備 景観の良い護岸としたい 巨石を利用した護岸としたい 洗濯に強い護岸 夜川瀬のなめらかな護岸を維持したい 現況護岸の維持 表面からコンクリートが見えない護岸を整備する 維持のない護岸(維持管理が楽な護岸) 草が生えない、草が生えにくい護岸を整備する 自然環境を残すことが可能な護岸整備 水制の維持 気軽に出入りできる護岸を整備する	自然のまま安心して生活できる川 川を利用し供に生きる	災害のない護岸 景観の良い護岸 自然を残し自然石を利用 低水護岸	川を利用し供に生きる 川の変化に富む		
河床	(大昔)夜川瀬は土石流が一晩で貯まったところ 家(夜川瀬付近)から川の水面が見えた(重複) 頭首工ができてから上流は河床が安定した(重複)	平地になっている 中流部に護床ブロックが設置されている カーテンブロックがある(和田大橋~押出橋) 夜川瀬付近は河床が下がっていて水面が見えない 中流部の河床は護床ブロックより低下している 昨年、巨石を並べた箇所河床は安定している 頭首工から上流は河床が安定している 遠山中学裏から下流は所々、河床低下が激しい 河床が安定している(和田大橋~押出橋)	少なくとも、現在の河原部分は残したい 巨石を打ち出したので下がった(採石) 中橋下は、洪水にも耐えられる堅固な構造物が必要(重複) 中橋周辺整備(河床の浸食) 河床低下を抑えるためには、帯工の設置も必要(重複) 河床下の浸食(河床の安定を阻害する)	河床の安定 河床内の中州(平地)の確保 河床形態(瀬、瀬)を維持したい 河床の低下をさせない川にしたい 巨石の多い河床 河床の安定変化を許容できる河床としたい	自然のまま、今のままの川 川の変化に富む	河床の安定化 変化のある河床形態 自然(巨石や砂)な形状、施設 中州、瀬、瀬			

※主に川に関する情報をまとめる(地域情報との重複可)

大項目	中項目	情報収集			目的の抽出と整理(オリジナル)	目標事項の整理結果 川づくりの目的・目標・回復すべきもの	目標達成のポイント	大項目の整理結果(オリジナル)	
		昔の状況(昭和世代)	現在の状況	将来の状況				目標事項の整理結果	目標達成のポイント
		抽出した目的一覧						川づくりの目的・目標・回復すべきもの	目標達成のポイント
		昔は瀬があった-NO.10 巨石がいっぱいあった	砂が増殖している-NO.2、NO.3 少し増殖している-NO.5 河床低下-NO.4、河床が低下している-NO.5、少し河床変動-NO.11 瀬がある 水制が効いている-NO.7 砂が細い(八重河内合流〜かぐら大橋) 巨石配置(効果あり) 巨石があっていい感じ-NO.12 帯工上流側に砂州形成	カーテンブロックの整備(重複) 人工的に測を作れないか(場所不明) (小)もっとふかしてほしい 自然石の帯工 河床低下の為に大石のみでなくその下部にセキを入れ てもらいたい。石のみでは土石止めにならない セキを作る場合は自然石を利用して景観に配慮してほしい 真中の石を取り除き大きい石を両岸へ	カーテンブロックの再設置 カーテンブロックの並び替え 中学校対岸の瀬を残したい 巨石による瀬の作成 水制を残す 巨石投入の利用 巨石設置(帯工)による河床変動の縮小 巨石設置(帯工)による河床変動の安定 巨石とせきの設置による河床の安定 巨石の再設置 自然石等を利用した帯工や水制工の整備				
利水	農業	川の水を取り入れ、利用している。	農業用水に利用している 取水口がある(和田大橋〜押出橋)		用水に利用 用水施設にて水が取水できるようにする 安心して使える用水をまもる	安定的に活用できる川	用水		農業用水、防火用水等へ継続的に利用する
	防災	川の水を取り入れ、利用している。	防火用水に利用している	川の水を町内の防火用水に今後も利用していきたい 水防用に水の取れる昇り口を	防火用水に利用 水防用に水が取水できるようにする 直接河川から防火用水をとりた	安定的に活用できる川	防火用水	安定的に活用できる川	用水 防火用水
利用	漁業	カジカがいた 天然のアユ、ウナギが平岡から遡上していた	一時少なくなったが、水質が良くなったので増えてきている 天然のアユ、ウナギがいなくなった アユ、アマゴは放流されて生息している ウグイが生息している 上流にイワナが生息している 上流にイワナが生息している	小魚がいた昔の支川 川魚が多く遡上する川にしたい 魚の放流を多くする (小)魚釣り、魚つかみができる川 川魚の種類を多くしたい	釣りや川遊びができる川 河川内植物を繁茂させる 魚が遡上できる川 魚と人が共生できる川 魚の泳ぎやすい川 魚が生存しやすい川 川に住む魚の量を増やす 釣り人でにぎわう川 川に住む魚の種類を増やす	自然の魚がたくさんみられる川 魚と人が共生できる川	魚、釣り		堤防から川面まで誰もが川を利用し親しめる環境づくり
		つり大会あった-NO.5	(中)釣りをする 魚道がある(和田大橋〜押出橋)						自然の魚がたくさんみられる川
水辺	遠山病院(和山病院)裏に昔は〇〇があって水遊びが出来た 水泳ができた-NO.10(重複)	散歩(犬も一緒に)する人が多い(重複)	水辺に行く道を作りたい(重複) 遊歩道を造る(和田大橋〜押出橋)(重複) 川辺の遊びを子供達にさせたい 子供が親しみを感ぜられる川(重複) 川遊びできるように-NO.5 子供達の魚の観察をする場所-NO.5	安心して遊べる水辺 安心して近づける水辺 気軽にふれあえる 子供達が遊べる 誰もが水辺にアプローチできる 魚が見える水辺 温泉施設と一体化した水辺 道の駅と一体化した水辺 観光客が川遊びできる水辺 雑木の除去(和田大橋〜押出橋)右岸(重複) それらしい石とか置いたらどうですか。 石のある川(重複) (保)きれいな石で遊べる川(重複)	安心して遊べる水辺 安心して近づける水辺 気軽にふれあえる 子供達が遊べる 誰もが水辺にアプローチできる 魚が見える水辺 温泉施設と一体化した水辺 道の駅と一体化した水辺 観光客が川遊びできる水辺 雑木の除去(和田大橋〜押出橋)右岸(重複) 雑生のない川 雑生がある水辺 石で構成された川	河川空間と共生できる川(水辺) 自然で子供もふれあえる水辺	安心、気軽、誰でも 近づきやすい水辺 観光施設との連携 植生、石	魚と人が共生できる川 河川空間と共生できる川(水辺) 自然で子供もふれあえる水辺 多くの人が集う川 いつでも誰でも利用できる川 地域コミュニティーの場所 情緒を感じ誰でも自然を満喫できる川 みんなが親しみやすい川	安心、気軽、誰でも 近づきやすい水辺 観光施設との連携 植生、石 安心して遊ぶ 石 地域行事に利用 観光との連携 上下流、施設の周囲 容易なアクセス 適正な維持管理 桜並木 遊歩道機能 観光利用(サイクリング、周回路)
		草本類が繁茂している 水際に植生-NO.2	雑木の除去(和田大橋〜押出橋)右岸(重複) それらしい石とか置いたらどうですか。 石のある川(重複) (保)きれいな石で遊べる川(重複)						
水域	中学校対岸に瀬があり、よく水遊びをした。 水泳ができた-NO.10(重複)	夏には子供達が水遊びをする 中学校対岸に瀬があるが、水遊びはしていない。 (中)魚つりをする	子供が親しみを感ぜられる川(重複) 子供が川で遊べるようにする。 (保)友達と泳げる川 (小)すべり台、ハンジューのできる川 魚釣れる-NO.10 (保)かにをつかまえられる川(重複)	安心して遊べる川 流速の遅い緩やかな川にしたい 子供が水遊びや泳げる川	多くの人が集う川	安心して遊ぶ 石		水辺までの容易なアプローチ 人、車	

※主に川に関する情報をまとめる(地域情報との重複可)

大項目	中項目	情報収集			目的の抽出と整理(オリジナル)	目標事項の整理結果		大項目の整理結果(オリジナル)		
		昔の状況(昭和世代)	現在の状況	将来の状況	抽出した目的一覧	川づくりの目的・目標・回復すべきもの	目標達成のポイント	目標事項の整理結果 川づくりの目的・目標・回復すべきもの	目標達成のポイント	
	アクセス		中流部左岸に1箇所づつ階段と車両乗り入れ部がある 道の駅部分に階段護岸が2箇所ある 階段2箇所 小階段(中橋～和田大橋) (小)階段がせまく、きゆうであふない	街灯設置-NO.4 夜川瀬の側から河原に降りる道がほしい(どんど狭き時) 右岸、かぐらの湯駐車場から車で下りられる河原が欲しい かぐらの湯からキャンピングカーが乗入れできるようにする かぐらの湯から川の中へ-NO.4 車の進入路(和田大橋～押出橋)右岸 車の進入路(和田大橋～押出橋)右岸 消防車の入れるように(重複) 保育園の園児が遊べる降り口と遊歩道(和田大橋～押出橋)(重複) どこからでも堤防から川辺に降りられる川 川へ入って遊べる、自然とふれあえるようにする	河川管理用道路の確保 暗くなくても利用 河川内に侵入しやすくする 河岸から低水敷へ降り易い川 水際まで車で近づける川 水際まで車で近づける川 イベントや防災として車が低水敷へアクセスできる川 水辺までのアプローチの確保		みんなが親しみやすい川	水辺までの容易なアプローチ 人、車		
施設	横断構造物	木の橋があった すぐ対岸に行けるよう簡単な橋を造っていた 頭首工ができてから上流は河床が安定した(重複)	和田大橋、中橋、かぐら大橋がある 中橋がシンボル 中橋に温泉の導水管がある、温泉管・上下水道管あり 対岸に渡れるような通路はない	巨石配置(効果あり) 中橋の改修、特徴ある橋の建設 歩ける橋 河床低下を抑えるためには、帯工の設置も必要(重複) <small>河床低下により中橋の下流、和田大橋下流に「帯工」を構築し、河川の安定を図る(重要)</small>	重要施設を守りたい(シンボルとしての橋) 和田宿を支えた中橋を守りたい 河床低下に対する橋基礎の保全 橋を観光に利用したい	地域に無くてはならない施設を守る	橋梁の保全			
	上流		頭首工がある		頭首工を守りたい			地域に無くてはならない施設を守る	橋梁の保全	
	中流		巨石を利用した横断構造物がある					自然の雰囲気を残す川	自然石を利用した構造	
	下流		重要施設(ヘリポート)がある グラウンド、公園がある-NO.1		ヘリポートを守りたい			生活の糧を守る	人家の保護 周辺の重要施設の保護 水害を起こさない	
	堤防		水制工はなかった	水制工が設置されている						
	河川内		護床ブロックが敷き設されている 砂が細い(八重河内合流～かぐら大橋) 堤外水路がある	カーテンブロックの整備(重複) 巨石をもっと多く入れる(重複) 自然石を使ったプール	自然石を利用した帯工や水制工の整備	自然の雰囲気を残す川	自然石を利用した構造			
	保護対象		上流部左岸に遠山中学校、和田保育園がある 中流部左岸に南信濃自治振興センター、福祉の里等がある 両岸に人家がある	遠山荘の裏の整備(八重河内合流～かぐら大橋)	重要施設、観光施設の保全 水害から町を守りたい 遠山中学校を保護したい 和田保育園を保護したい 自治振興センターを保護したい かぐらの湯を保護したい 福祉の里を保護したい 人家を保護したい 周辺施設を保護したい	生活の糧を守る	人家の保護 周辺の重要施設の保護 水害を起こさない			
災害			昭和40年に遠山川氾濫により中学校付近護岸被災 平成22年に遠山中学校裏被災 被災当時の机、イスを使用している 大雨時に上流から流木が流れてきた	昭和40年9月17日、集中豪雨により遠山川が氾濫し、 遠山中学校が倒壊した。老朽化した堤防の再構築が急務 (小)ダムの放流を学校で確認できる	災害に強い堤防 増水に負けない護岸を整備 災害に強い堤防や護岸 安全に流下させる護岸整備	将来に渡って健やかに生活	災害に強い構造 護岸整備	大雨等の河川災害に強い護岸、堤防づくり 将来に渡って健やかに生活 災害に強い構造 護岸整備		
活動	維持管理		地元で年〇回程度、低水敷の草刈を行っている 桜並木の管理(剪定等) スクッチNo.2の川右側がぐれ易そうなので点検してほしい	草木の定期的な伐採 雑木伐採-NO.2、雑木切断-NO.8、雑木不用-NO.8、10 人が入れるように木を開引く整備(和田大橋～押出橋) 草木を除去して見易くする(和田大橋～押出橋)右岸 雑木の除去(和田大橋～押出橋)右岸 八重河内川との合流点の河床整備 (小)草かりをして広く、たいらにする	良好な河川環境の創出 人が歩行できるように草木の伐採をしたい 草木の伐採がしやすい河川 定期的な維持活動による施設管理 河川内の草木の維持管理を考慮した河川整備	みんなで守る、地域で守る	河川空間の維持管理	維持管理、草刈など河川空間保全のための活動の充実 みんなで守る、地域で守る 河川空間の維持管理		